「元気発進！子どもプラン（第２次計画）」個別事業の評価一覧

■ 施策(4)家庭の教育力の向上

事業の評価																			予算			担当課
		【Plan】計画				【Do】実施							【Check】評価		【Action】改善	予算						※太字が評価を記載した課
柱番号	事業番号	事業名	事業概要	前年度の評価を踏まえての改善	28年度の事業計画	28年度の主な実績	活動指標	区分	27年度	28年度	29年度	評価	評価の理由（分析）	次年度以降の課題や改善内容	予算事務事業名	決算・次年度予算額【千円】		備考				
1	68	家庭・地域への啓発事業	家庭教育について、関心のある保護者とそうでない保護者の二極化傾向が見られる中、従来の取組みに加え、小学校入学前の早い段階からの啓発の実施など、よりきめ細かく家庭の教育向上に取り組む。 〇早寝・早起き・朝ごはんなどの基本的生活習慣の重要性を啓発するリーフレット「きほんのき」(3～5歳児対象)の作成配布 〇全市立幼稚園・小・中・特別支援学校における家庭教育学級の実施 〇保育所・私立幼稚園における家庭教育学級の拡充(全園での実施) など	・小学校入学前説明会での啓発や、幼児の保護者を対象とした家庭教育講座の実施などを通して幼児期の保護者への啓発を強化する。 ・主に中学校の保護者を対象とした「家庭教育講演会」を実施し、保護者の負担軽減を図りながら、より多くの保護者に、家庭で子どもの教育をする心構えや、子どもへの接し方などを学習する機会を提供する。	①基本的生活習慣の啓発リーフレット配布 ②全市立幼稚園・小・中・特別支援学校における家庭教育学級開催 ③保育所・私立幼稚園における家庭教育学級の拡充 ④幼児の保護者を対象とした家庭教育講座の実施 ⑤家庭教育講演会(全市版家庭教育学級)の開催	①保育所・幼稚園に在籍する3才児の保護者及び小学校入学前説明会にて5歳児の保護者へ配布 ②207校実施 ③保育所 (民営62園、直営18園) 私立幼稚園　46園 ④12市民センターで実施 ⑤開催数　1回	家庭教育学級開設数 【現状値】 345か所 （H25年度） 【目標】 370か所 （H30年度）	単年度目標	340か所	350か所	360か所	順調	・家庭教育学級開設数は、目標を達成できず昨年度より減少しているが、幼児の保護者が小学校入学前に家庭教育の重要性を学ぶ「家庭教育講座」は昨年度より増加し、全市版家庭教育学級としての「家庭教育講演会」等も実施したことから、「順調」とした。	【課題】 ・PTAの負担が大きいため、PTAの負担を少しでも軽減化していくため、家庭教育学級の見直しを検討する。 【改善】 ・今後も、より多くの保護者の参加を目指した講演会等を開催するとともに、幼児期の保護者への啓発を継続する。	家庭・地域・学校パートナーシップ事業	決算	7,980の一部		市文・生涯学習課 教育・指導第二課
							単年度実績		344か所	333か所						予算	9,473の一部					
							達成率		101%	95%												
							計画目標達成率		93.0%	90.0%												
1	69	PTA活動との連携	PTA活動の趣旨、目的について理解を深めるとともに、PTA活動に必要な知識、技能を習得することにより、健全なPTA活動の推進を図ることを目的とし、各種研修会の実施や意見交換などに加え、子どもの基本的生活習慣の定着に向けた事業などを、PTA協議会と連携して取り組む。	・PTA協議会と協力して、より多くの保護者に対する啓発（講演会等）を行う。	①PTA協議会と協力して、保護者向けの研修会を開催する。	①各研修会への参加人数　883人	各研修会への参加人数 【現状値】 819人 （H26年度） 【目標】 850人	単年度目標	850人	850人	850人	順調	・研修会やその他取組の実施にあたり、北九州市PTA協議会と連携を図りながら実施することができた。 ・PTA指導者研修会や広報委員研修会などの実施にあたり、北九州市PTA協議会と連携しながら実績を重ね、参加人数は単年度目標を超えたものの、課題として、保護者のPTA活動への参加促進及び家庭の教育力の向上に向けた効果的な取り組みの検討の必要がある。 以上のことから、「順調」とした。	【課題】 保護者のPTA活動への参加促進及び家庭の教育力の向上に向けた効果的な取り組みの検討 【改善】 保護者がPTA活動に参加しやすい環境づくりを進める。また、PTA協議会と協力することで、より多くの保護者に対する啓発（講演会等）を行う。	・成人教育	決算	134		教育・指導第二課
							単年度実績		708人	883人						予算	373					
							達成率		83.3%	103.9%												
							計画目標達成率		83.3%	103.9%												
1	70	親育ち支援連続講座等の実施	子育てふれあい交流プラザや子どもの館などの子育て支援施設において、その施設の特徴を生かし、幅広い年代にわたる親育ち支援のための講座を体系的に実施する。	・既存の講座を体系的に整理し、両施設の特徴を生かした親育ち講座等を実施する。	①子育てに不安を感じている親世代に、充実した講座等を通じて、安心して子育てができるように知識や心構え等のアドバイスを行う。	①両施設において、幅広い年代にわたる親育ち支援のための講座を実施。	両施設講座等実施回数 【現状値】 443回 （H26年度） 【目標】 維持	単年度目標	前年度比（443回）同水準	前年度比同水準	前年度比同水準	順調	・両施設において、それぞれの施設の特徴を生かした親育ち支援のための講座等を実施した結果、目標を達成できていることから順調とした。	指定管理者と協調し、幅広い年代にわたる親育ち支援のための講座を体系的かつ効果的に実施できるよう、引き続き内容の充実を図る。	子どもの館・子育てふれあい交流プラザ運営事業	決算	425,228の一部		子家・総務企画課
							単年度実績		421回	468回						予算	422,665の一部					
							達成率		95.0%	111.2%												
							計画目標達成率		95.0%	111.2%												
1	71	家庭内事故防止のためのPR	0歳児を除く子どもの死亡原因のトップである不慮の事故をなくすため、子育てふれあい交流プラザ内に、日常の生活空間を再現した「セーフキッズ」を設置し、家庭内の危険箇所や予防方法を紹介する。	・より多くの方々にご利用いただき、啓発を図る。	①引き続き、日常の生活空間を再現したコーナーで、事故予防の啓発を行うことで、より効果的に子どもの不慮の事故を防ぐことにつなげる。	①子育てふれあい交流プラザをご利用される多くの方に、ご利用いただくことができた。	セーフキッズ利用者数 【現状値】 11,582人 （H25年度） 【目標】 増加	単年度目標	前年度（14,815人）比増加	前年度比増加	前年度比増加	順調	・前年度比増加の目標を上回ることはできなかったが、H26年度とほぼ同水準の方々にご利用いただき、啓発することができたため順調とした。	・子育てふれあい交流プラザを利用する多くの方々にご利用していただけるように、積極的にPRを行い、さらなる啓発を図る。	子どもの館・子育てふれあい交流プラザ運営事業	決算	425,228の一部		子家・総務企画課
							単年度実績		22,307人	14,560人						予算	422,665の一部					
							達成率		150.6%	65.3%												
							計画目標達成率		150.6%	65.3%												

■ 施策（4）家庭の教育力の向上

事業の評価															予算			担当課
		【Plan】計画				【Do】実施						【Check】評価		【Action】改善	予算			※太字が評価を記載した課
柱番号	事業番号	事業名	事業概要	前年度の評価を踏まえての改善	28年度の事業計画	28年度の主な実績	活動指標	区分	27年度	28年度	29年度	評価	評価の理由（分析）	次年度以降の課題や改善内容	予算事務事業名	決算額・次年度予算額【千円】	備考	
1	72	子どもの読書活動の推進	学校における10分間読書の継続・充実や家庭への働きかけ等、言葉の力の向上につながる読書習慣の定着を図る。また、学校図書館職員の配置やブックヘルパー等の活用により、すべての小中学校で学校図書館の常時開館を実現する。	・平成28年2月に策定した「新・北九州市子ども読書プラン」（計画期間：平成28～32年度）に基づき、豊かな心と生きる力をはぐくむ読書環境の充実と、子どもが楽しく自主的に本を手に取る読書習慣の形成に努める。	①「新・北九州市子ども読書プラン」に掲載されている36項目の実施 ※36項目の例 ・子ども図書館の整備 ・「ノーテレビ・ノーゲーム・読書の日」の推進 ・家読（うちどく）の推進 ・10分間読書の推進 ・利用しやすい学校図書館の環境づくり など	①36項目全て実施	北九州市子ども読書プランに掲載されている施策・項目（H28年度からは新・北九州市子ども読書プラン） 【現状値】 27項目 【目標】 27項目（平成28年度からは36項目）	単年度目標	27項目	36項目	36項目	**順調**	・指標である「子ども読書プラン」の36項目を実施し、子どもの読書を推進する取組みを進めることができた。 ・新プランに基づき、全ての項目に取り組み、プランに掲げた目標に向けて進捗中であることから、「順調」とした。	・平成28年2月に策定した「新・北九州市子ども読書プラン」（計画期間：平成28～32年度）に基づき、豊かな心と生きる力をはぐくむ読書環境の充実と、子どもが楽しく自主的に本を手に取る読書習慣の形成に努める。	・子どもの読書活動推進事業 ・学校の読書活動推進事業 ・「読書で広がる子どもの未来づくり事業」 ・子ども司書養成講座等学校読書活動支援事業 ・標準運営費の一部 ・スクールヘルパーの配置の一部(H29から) ・子ども図書館整備事業（H29から） ・図書購入費（子ども図書館、勝山移転費用含む）（H29から）	決算 240,369 予算 529,415		**教育・企画調整課**
								単年度実績	27項目	36項目								
								達成率	100%	100%								
								計画目標達成率	100%	100%								
1	73	はじめての絵本事業（ブックスタート事業）	①はじめての絵本事業 妊娠時の早い時期から子どもの読書に関心を持ってもらい、おなかの赤ちゃんに絵本を読んであげることにより、親子でゆったりとしたひと時を過ごしてもらえるよう、平成28年10月より、母子健康手帳の交付時に「絵本ﾊﾟｯｸ」を無料で配布する。 ②ブックスタート事業 はじめての絵本事業に移行したが、移行以前に母子健康手帳の交付を受けた方に対して案内はがきと引換に「絵本ﾊﾟｯｸ」を無料で配布する。 また、本にふれあうきっかけづくりとして、市立図書館、保育所、親子ふれあいﾙｰﾑ等で読み聞かせを実施しその体験を家庭でも生かしていただけるように努める。	・早い時期から子どもの読書活動に関心を持ってもらうきっかけづくりとともに、配布率の向上をはかるため、これまで出生後に絵本パックを配布してきた「ブックスタート事業」を見直し、平成28年度から出生前の母子健康手帳交付時にあわせて絵本パックを配布する「はじめての絵本事業」を実施する。	①母子健康手帳の交付時に「絵本ﾊﾟｯｸ」を無料で配布。 ②赤ちゃんのいる家庭への「絵本パック」の無料配布	平成28年10月より、母子健康手帳の交付時に「絵本ﾊﾟｯｸ」を配布したことにより配布率が上がった。	絵本パック配布率 【現状値】 67.1%（平成26年度） 【目標】 100%（平成32年度）	単年度目標	70.0%	75.0%	85.0%	**大変順調**	・「はじめての絵本事業」の開始により、平成28年度の配布率は78%となり、単年度目標の達成率は104%であった。	・妊娠時の早い時期から子どもの読書に関心を持ってもらい、おなかの赤ちゃんに絵本を読んであげることにより、親子でゆったりとしたひと時を過ごしてもらえるよう、母子健康手帳の交付時に「絵本ﾊﾟｯｸ」を無料で配布する「はじめての絵本事業を継続する。	・ﾌﾞｯｸｽﾀｰﾄ（拡充分含） ・はじめての絵本事業	決算 15,360 予算 17,326		**教育・中央図書館庶務課**
								単年度実績	64.0%	78.0%								
								達成率	91.4%	104.0%								
								計画目標達成率	64.0%	78.0%								
2	74	北九州市子どもを育てる10か条の普及促進活動	子どもの基本的生活習慣の定着や、家庭や地域の教育力の向上を図るため、「早寝・早起き・朝ごはん運動」や「北九州市子どもを育てる10か条」を、市民に広く実践してもらうための普及促進を図る。	・地域において「北九州市子どもを育てる10か条」の更なる普及、啓発を図る。	①子どもを育てる10か条を広く市民に広めるための出前講演開催。	①出前講演を実施7回	出前講演開催回数 【現状値】 15回（H26年度） 【目標】 10回	単年度目標	10回	10回	10回	**順調**	・出前講演開催回数は、目標数よりも下回ったが、昨年度より増加した。 ・啓発については、チラシやのぼり旗を各小中学校や市民センターへの配布に加え、市営バスの車内放送PR等に取組んだ。 以上のことから「順調」とした。	【課題】 学校や市民センター等での啓発により認知度が高まる一方、認知範囲に偏りがあるという課題がある。 【改善】 引き続き、幼稚園、小学校及び市民センター等に対し、チラシ・ポスターの配布、各種会議・講演会・行事などでの唱和、市営バスでの車内放送広告等を実施する。更に、フェイスブック等を活用したPRを行うことで更なる普及を図っていく。	家庭・地域・学校パートナーシップ事業の一部	決算 346 予算 346		**教育・指導第二課**
								単年度実績	6回	7回								
								達成率	60%	70%								
								計画目標達成率	60%	70%								
2	75	「子どもまつり」の充実	家庭におけるコミュニケーションの促進を図るため、「子どもまつり」の中で親子のふれあい等を高めることができる催しを実施する。	・子どもまつりの内容充実。 ・親子が参加したくなるような広報を行う。	①各区における「子どもまつり」の実施 ②親子のふれあいの推進	①② 各区で趣向を凝らしたイベントを実施した。 来場者総数：75,406人	来場者数 【現状値】 79,264人（H25年度） 【目標】 増加	単年度目標	79,264人	前年度比同水準	前年度比同水準	**順調**	・数多くの親子連れが来場し、ロープワークや靴飛ばし、昔遊びなど、親子で一緒に楽しむことができる体験の機会を提供することができた。以上より、「順調」とした。	・さらに多くの親子等に参加してもらえるよう効果的な広報を行う。 ・チラシや市政だより、ホームページ、フリーペーパーなどで、広く市民に参加の呼びかけを行う。	子どもまつり	決算 2,450 予算 2,450		**子家・青少年課**
								単年度実績	74,700人	75,406人								
								達成率	94%	101%								
								計画目標達成率	94%	95%								

■ 施策（4）家庭の教育力の向上

事業の評価																予算			担当課
		【Plan】計画				【Do】実施						【Check】評価		【Action】改善	予算				※太字が評価を記載した課
柱番号	事業番号	事業名	事業概要	前年度の評価を踏まえての改善	28年度の事業計画	28年度の主な実績	活動指標	区分	27年度	28年度	29年度	評価	評価の理由（分析）	次年度以降の課題や改善内容	予算事務事業名	決算額・次年度予算額【千円】		備考	
3	76	家族のためのペアレントトレーニング事業	虐待の再発防止および発生予防を図るため、「虐待を行った保護者」および「養育不安のある保護者」に対して、「家族再統合コース」「養育不安コース」の二種類のプログラムを実施し、児童に対する養育技術に関する訓練を行う。 また、保護者がより受講しやすいプログラムの導入についても検証し、より効果的な事業となるよう取り組む。	・養育不安の軽減や虐待予防を図る。	①「家族再統合コース」プログラムを実施する。 ②「養育不安コース」プログラムを実施する。	①参加家族数　19家族 ②参加家族数　19家族	ペアレントトレーニング事業参加家族数 【現状値】 28家族（H26年度） 【目標】 目標設定なし	単年度目標	―	―	―	**順調**	・虐待を行った保護者や養育不安のある保護者に対して児童に対する養育技術や家庭環境の整備に関する訓練を行い、特別な支援を要する子どもや家庭への支援を図ることができたことから「順調」とした。	【課題】 ・中断するケースの継続実施 ・保護者同士の交流の促進 【改善】 ・適応ケースを見極め、継続実施にむけた動機付けを高める。 ・保護者同士の交流をより促進するようなプログラムを検討する。	家族のためのペアレントトレーニング事業	決算	1,322		**子家・子ども総合センター**
								単年度実績	36家族	38家族						予算	1,864		
								達成率	―	―									
								計画目標達成率	―	―									